

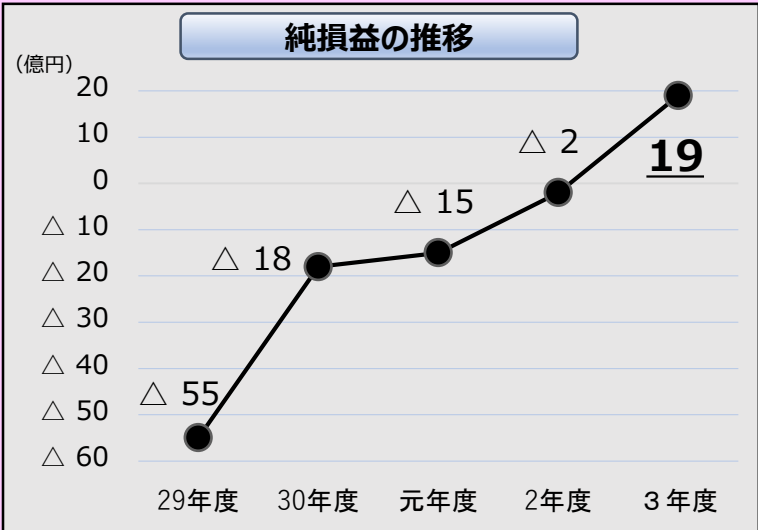
## ■ 決算の状況

➤ 収益的収入	645億3,200万円	(前年度比54億7,700万円増、計画比24億2,900万円増)
➤ 収益的支出	626億5,100万円	(前年度比33億7,500万円増、計画比13億7,300万円減)
➤ 当期純損益	18億8,100万円	(前年度比21億2,000万円増、計画比38億2,000万円増)

## ■ 決算のポイント

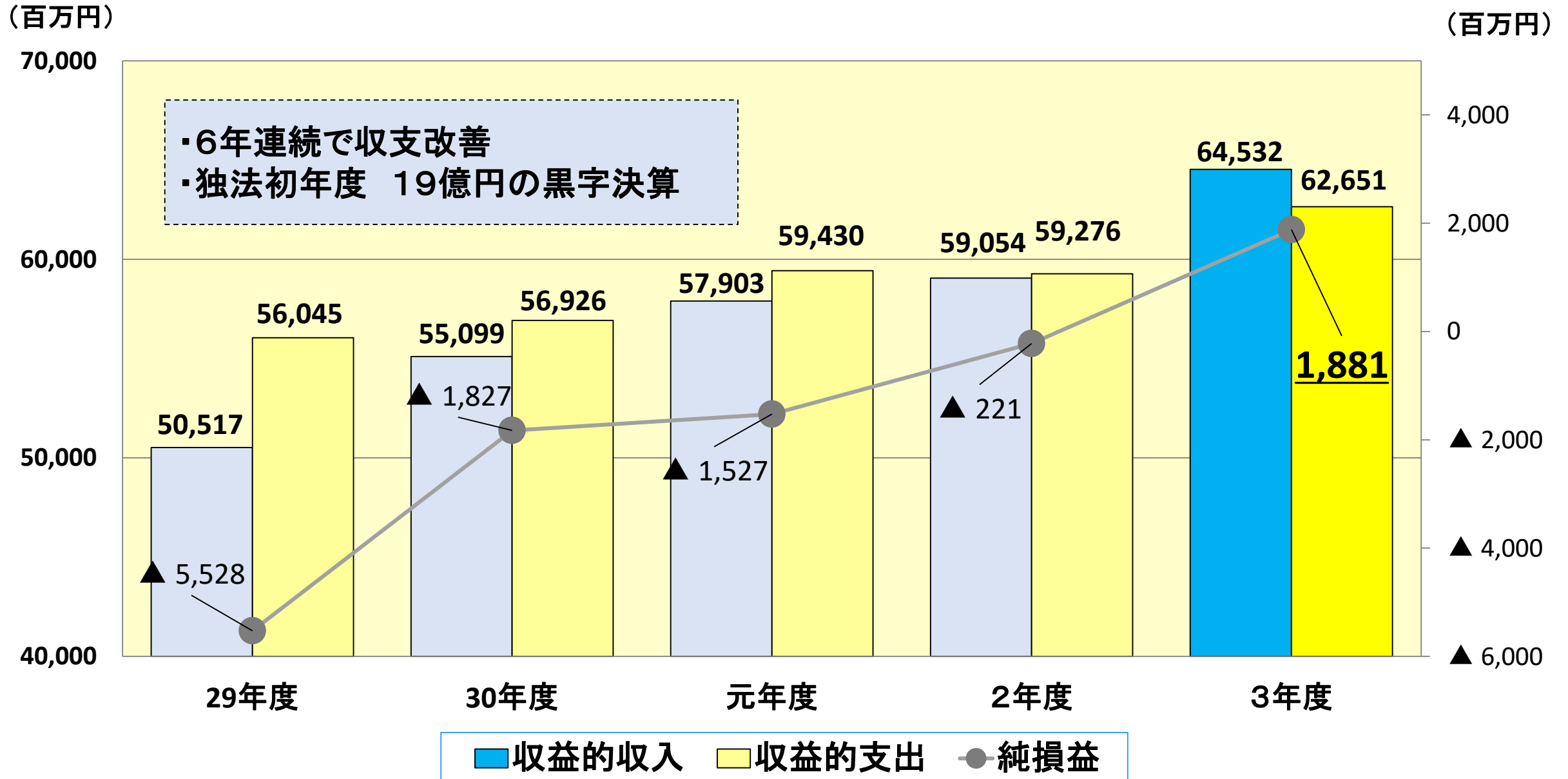
- ✓ 新型コロナウイルス感染症の影響を受けながらも前年度比21億円増の医業収益（入院収益、外来収益ほか）を確保。（計画比27億円減少）
- ✓ 純損益は前年度比21億円増加し、19億円の黒字決算となった。（計画比38億円増）

○ 医業収益	425億円	(前年度比21億円増、計画比27億円減)
・ 入院収益	282億円	(前年度比17億円増、計画比19億円減)
・ 外来収益	131億円	(前年度比3億円増、計画比6億円減)
○ 医業費用	591億円	(前年度比33億円増、計画比12億円減)
（※一般管理費を含む。）		
○ 運営費負担金収益	153億円	(前年度比3億円減、計画比3億円減)
○ 補助金収益	58億円	(前年度比33億円増、計画比57億円増)



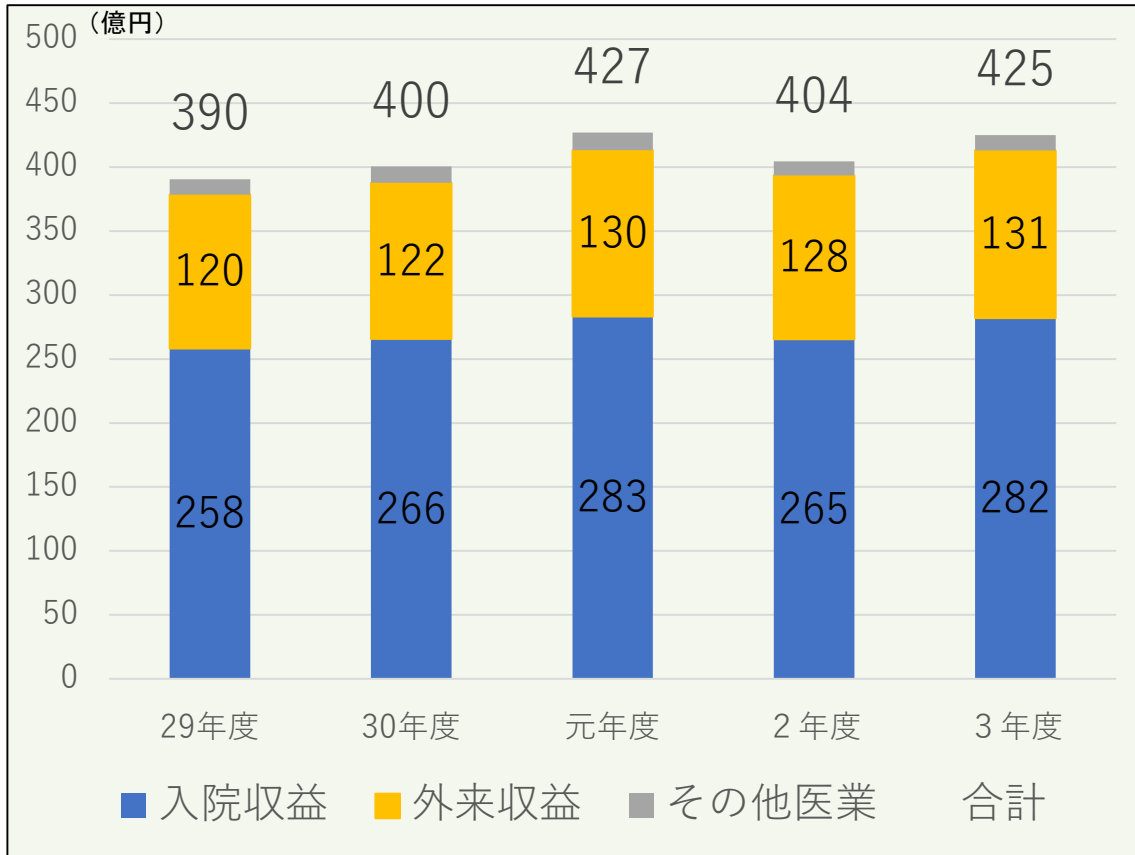
# 令和3年度決算及び経営状況

## 収益・費用・純損益の推移



# 令和3年度決算及び経営状況

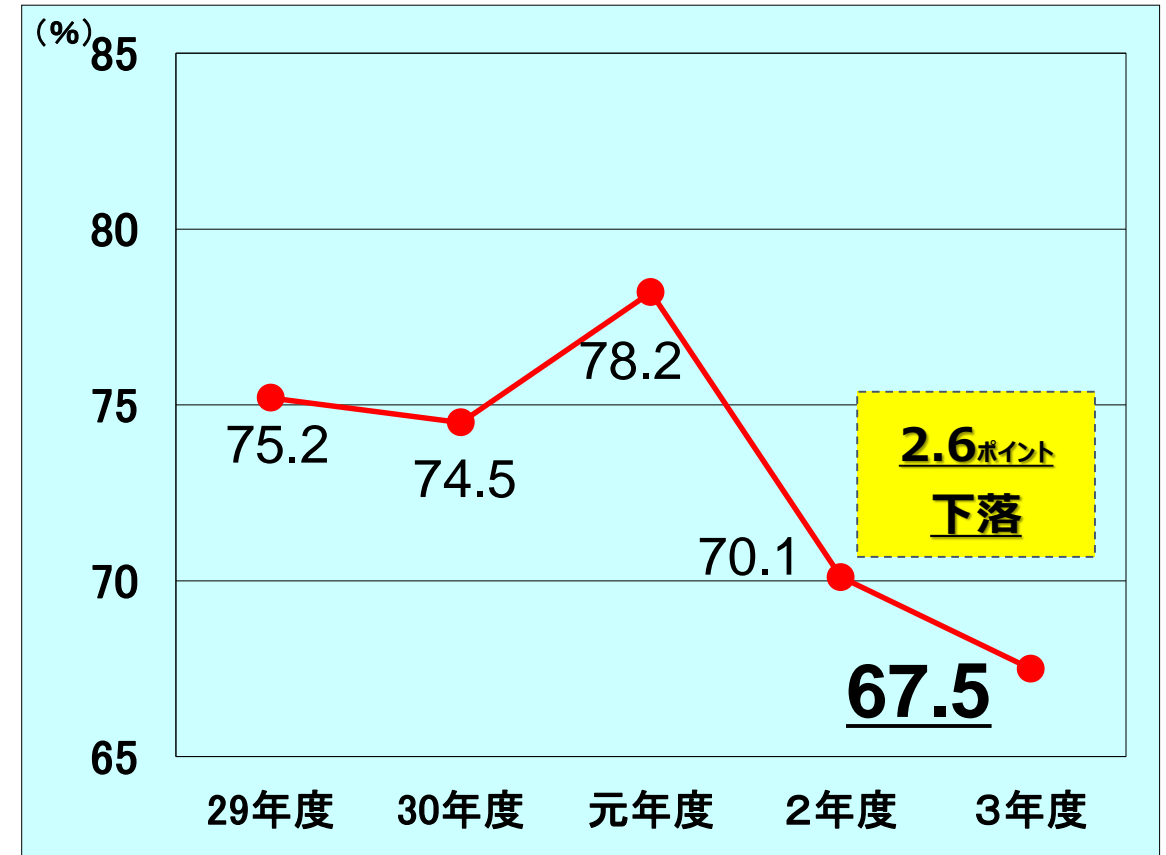
## 医業収益の推移



新型コロナウイルス感染症の患者を受け入れながらも感染拡大前の水準（令和元年度）と同水準の医業収益を確保。

- ・前年度比 21億円増（入院17億円増 外来3億円増）
- ・令和元年度比 2億円減（入院1億円減 外来1億円増）

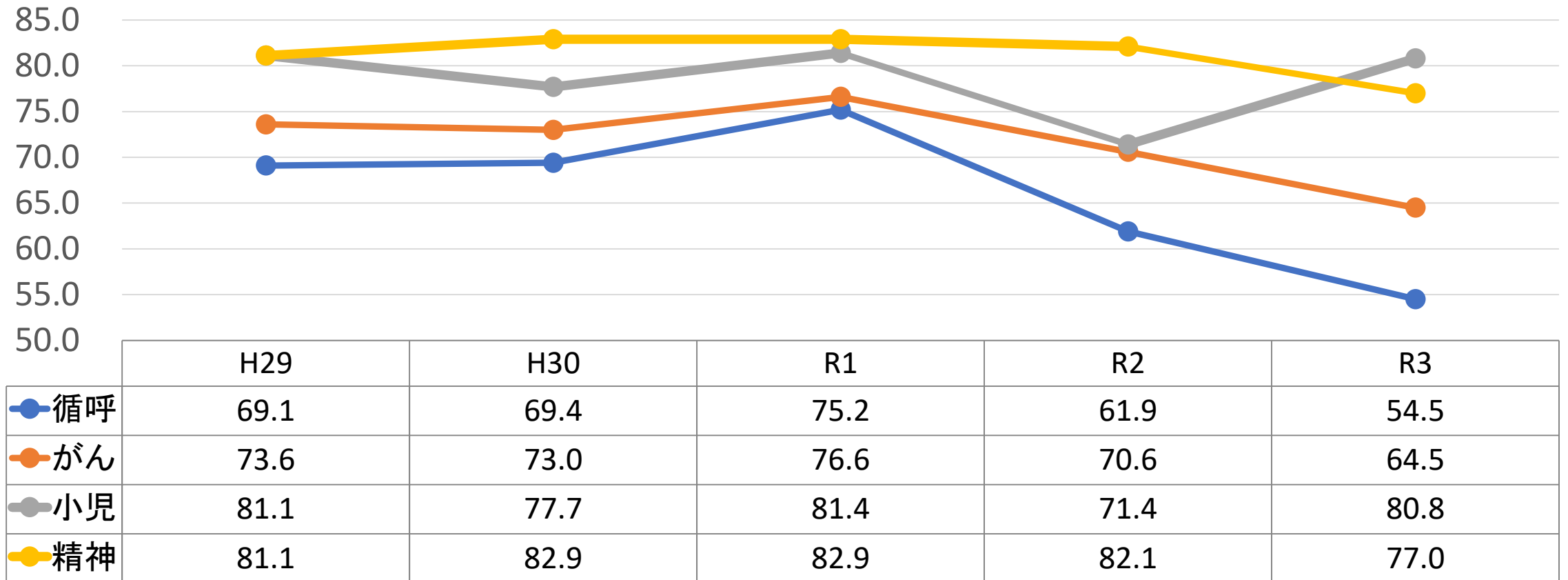
## 病床利用率の推移



新型コロナウイルス感染症の患者受け入れによる病床確保などの影響で病床利用率は70パーセントを切る厳しい状況。

# 令和3年度決算及び経営状況

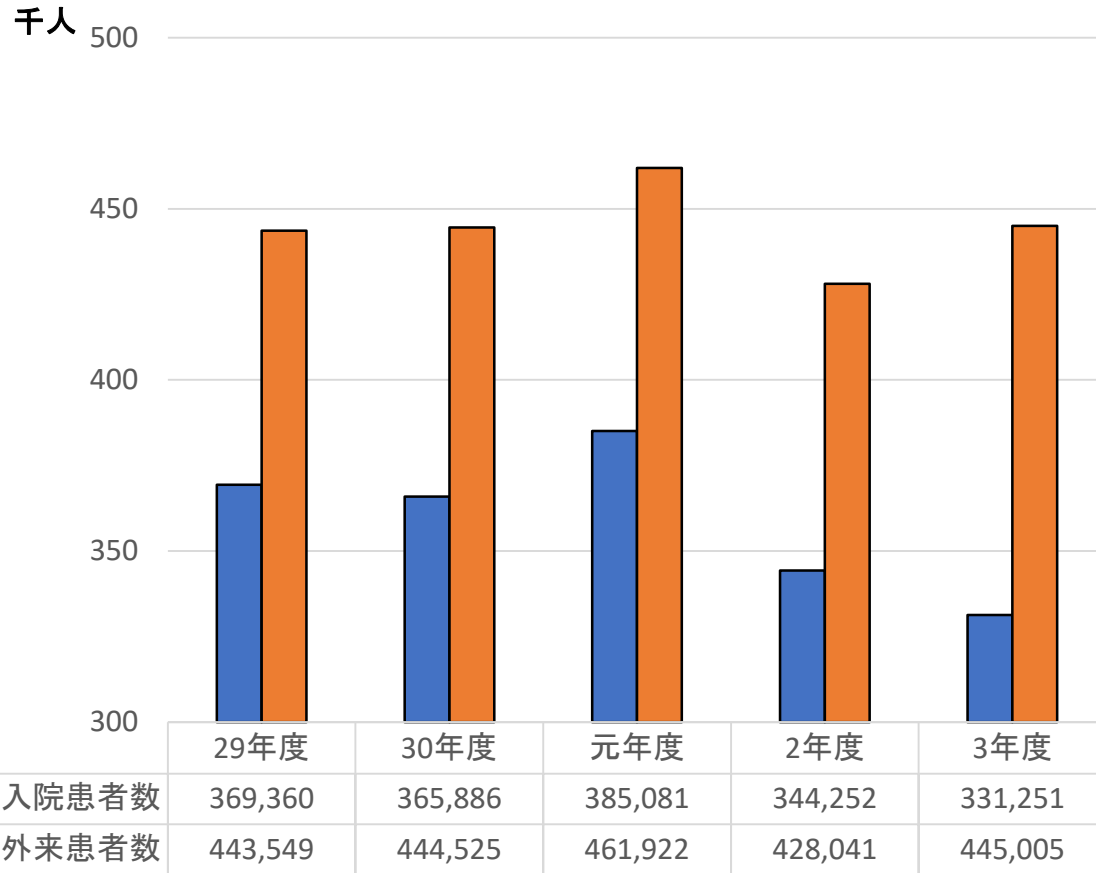
## 病床利用率の推移（病院別）



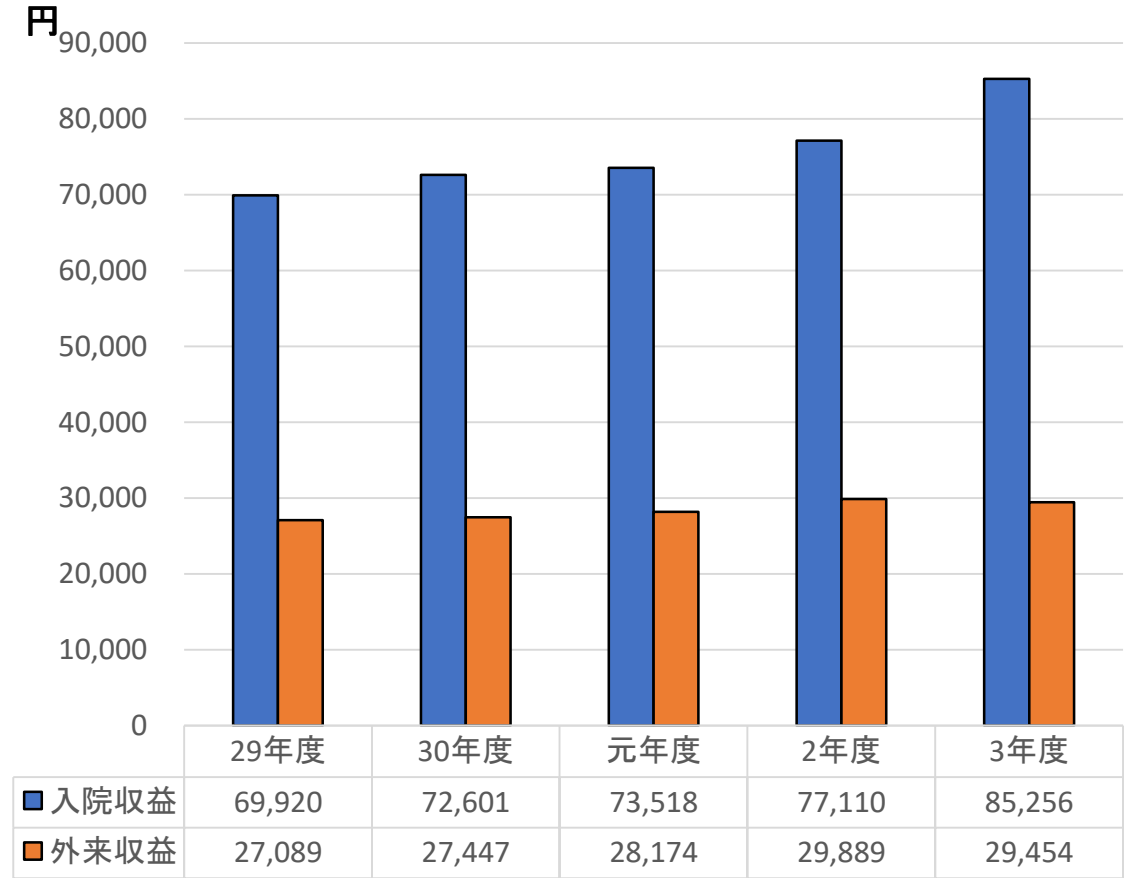
- ・ 新型コロナウイルス感染症の患者を多く受け入れた循環器・呼吸器病センターやがんセンターが大きく減少。（循環器：7.4ポイント減少　がん：6.1ポイント減少）
- ・ 小児医療センターにおいては新型コロナウイルス感染症の感染拡大前（令和元年度）と同レベルを確保。

# 令和3年度決算及び経営状況

## 入院・外来患者の推移



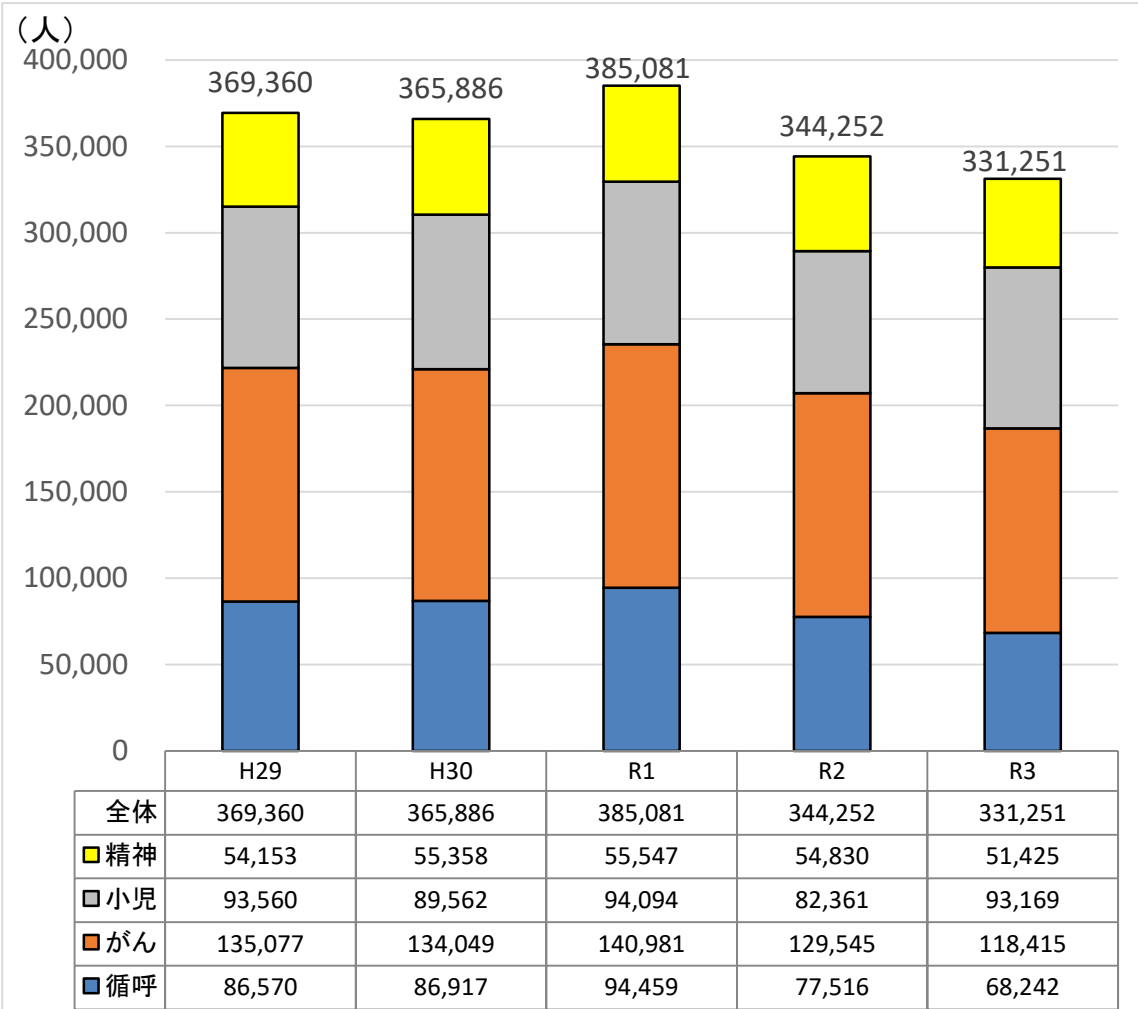
## 一人一日当たり入院収益・外来収益



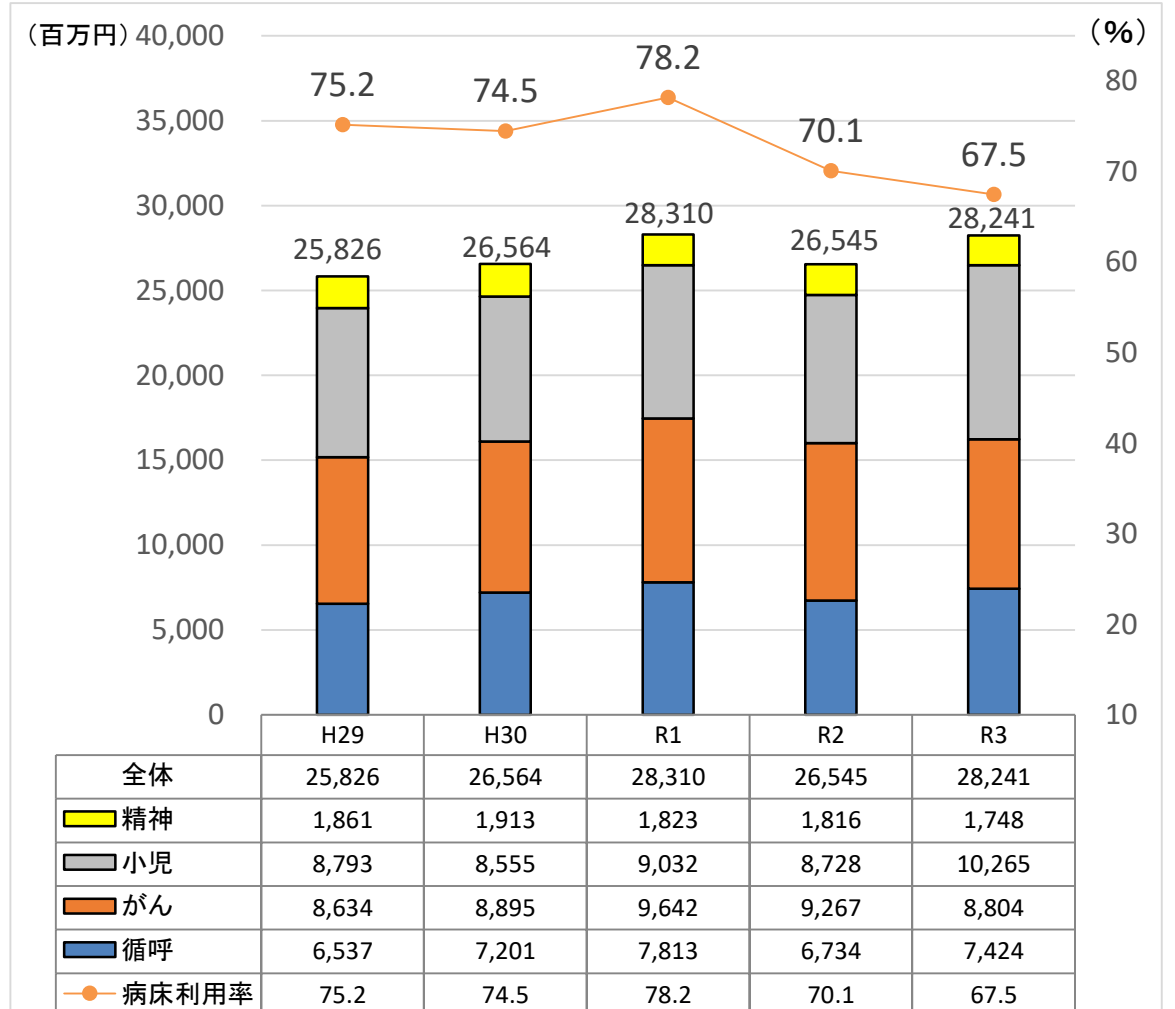
- ・入院患者数は新型コロナウイルス感染症感染拡大前の令和元年度比で14%減となったが、一人一日当たり入院単価は令和元年度比約16%増と大幅に上昇。
- ・外来患者数は令和元年度比で約4%減となったが、前年度比では約4%の増加と回復。

# 令和3年度決算及び経営状況

## (病院別) 入院患者数の推移



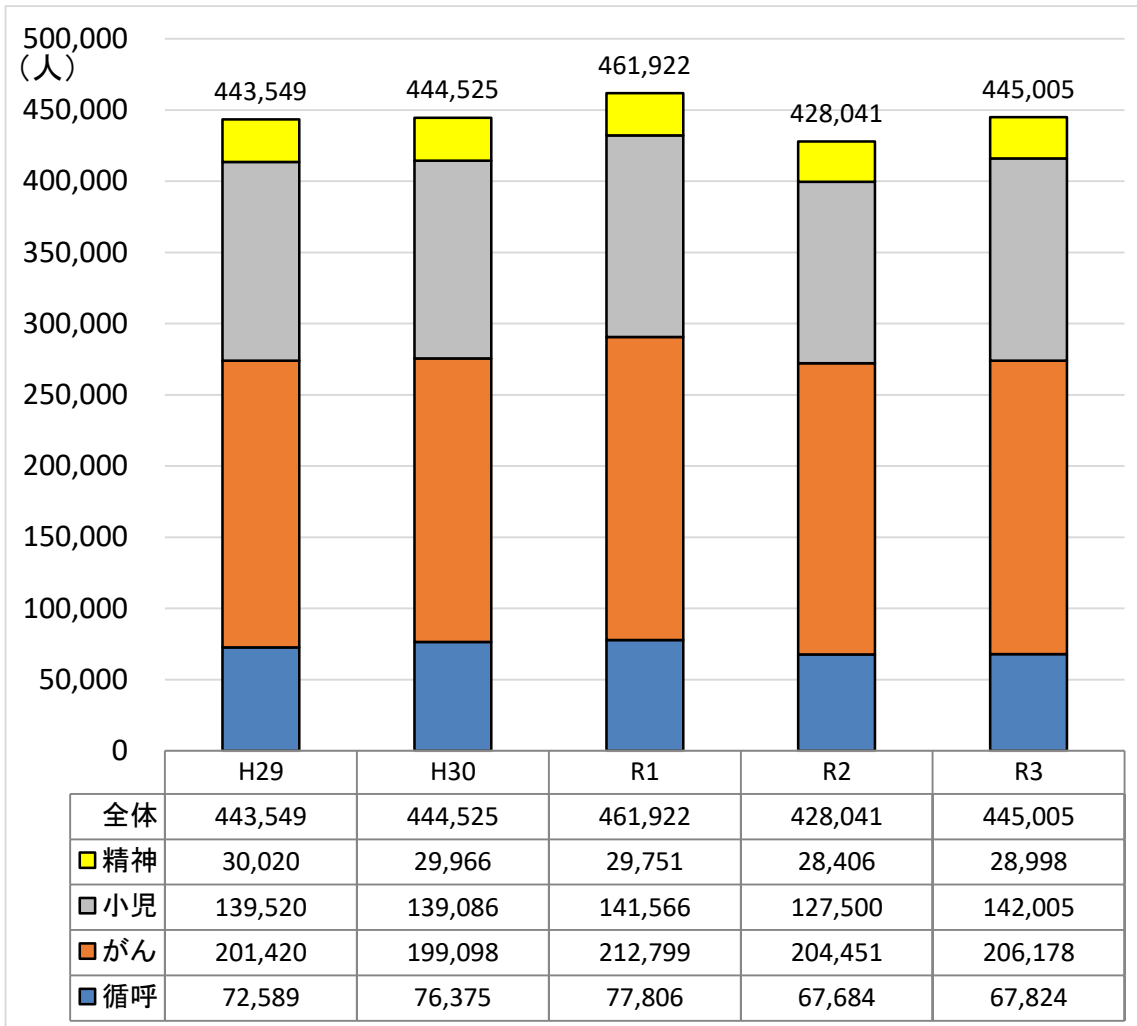
## 入院収益と病床利用率の推移



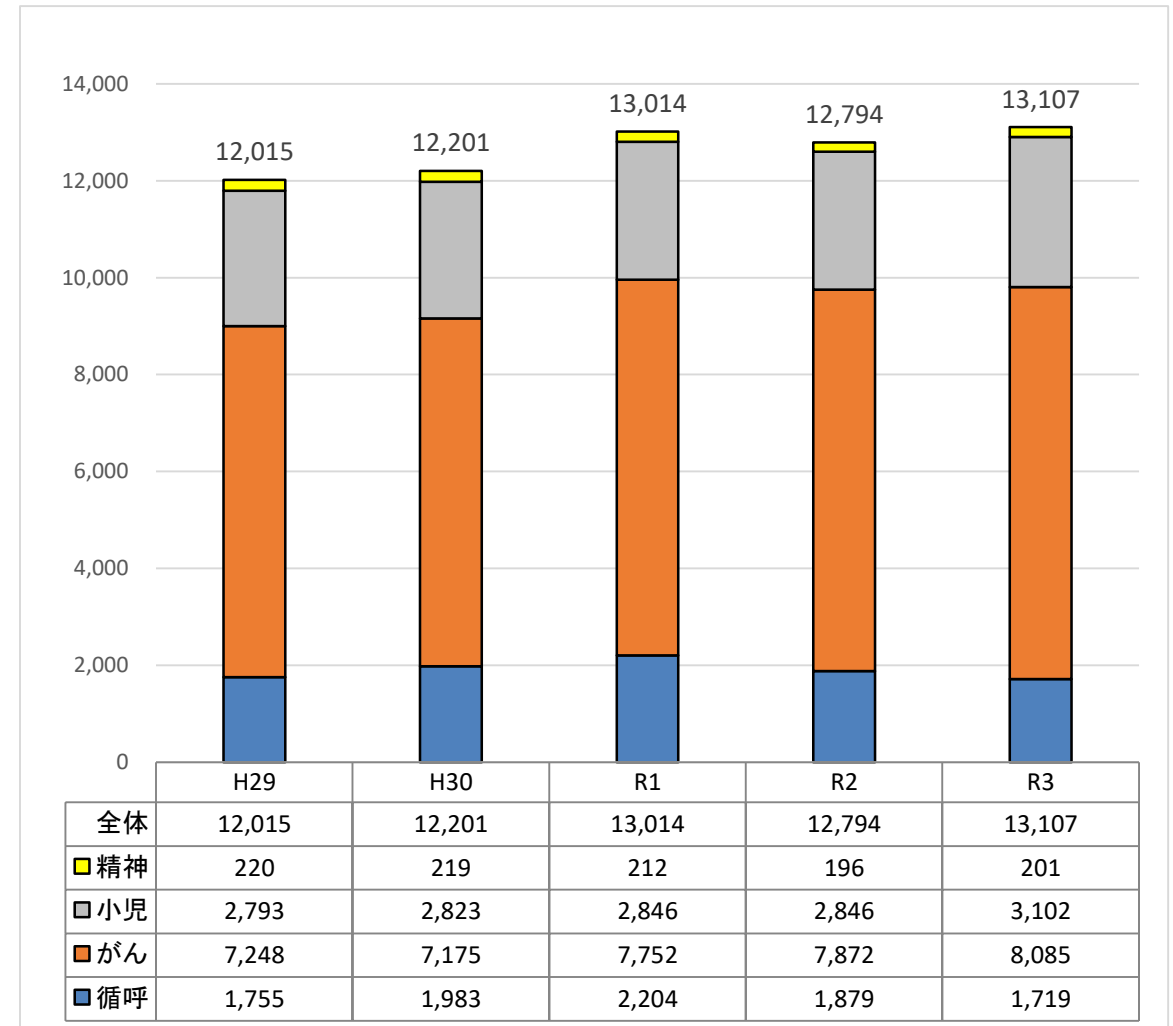
・入院患者数は大幅減となったが、一人一日当たり入院単価が大幅に上昇したことにより、新型コロナウイルス感染症の感染拡大前の令和元年度と同水準の入院収益を確保。

# 令和3年度決算及び経営状況

## (病院別) 外来患者数の推移



## 外来収益の推移



・ 外来患者数は令和元年度比で約4%減であったが、外来収益は令和元年度比約1%増と新型コロナウイルス感染症の感染拡大前の水準に回復。